

済生会山形済生病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。

管理番号	547
研究課題名	当院での BOM アウトカム志向パス導入を試みえた課題
本研究の目的	当院では2022年の電子カルテ更新に伴い、クリニカルパスのアウトカムに BasicOutcomMaster(BOM)を導入した。BOM 導入したことで、アウトカムと対応する観察項目が設定され、パスの中で患者の状態をアセスメント、アウトカム評価が行えるようになった。今回腹腔鏡下胆嚢摘出術パスのバリエーション分析を行い、導入後のアウトカム評価を振り返り、課題を明らかにする。
対象者	2023 年 6 月 1 日～2023 年 12 月 31 日まで腹腔鏡下胆嚢摘出術パスを使用した患者
研究代表者	社会福祉法人恩賜財団 山形済生病院 5B 病棟 長岡和恵
当院の研究責任者	社会福祉法人恩賜財団 山形済生病院 5B 病棟 長岡和恵
実施（予定）期間	承認後～2024 年年 10 月
研究方法	単純集計 バリエーションを分析・評価
研究に用いる 試料・情報の種類	診療情報（年齢、性別、入院日数、既往歴、日常生活自立度、腹腔鏡下胆嚢摘出術パス使用後のバリエーションなど）
外部への試料・ 情報の提供・公表	第 24 回日本クリニカルパス学会学術集会 ポスター発表
個人情報の取扱い	2023 年 6 月 1 日～2023 年 12 月 31 日まで腹腔鏡下胆嚢摘出術パスを使用した患者の入院期間やバリエーションなど数字データを使用し、患者固有のものは使用しないため、患者個人が特定されることはなく、患者への不利益は生じにくいと考える。またデータは研究以外には使用せず、研究終了後には破棄を行う。
利益相反	発表演題に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。
お問合せ先	社会福祉法人恩賜財団 山形済生病院 5B病棟 長岡 和恵（023-682-1111 代表）